

こんな活動です

# できることを できるときに できることから 様々な学校支援への取組～志の集まる学校へ～

滋賀県長浜市

活動名

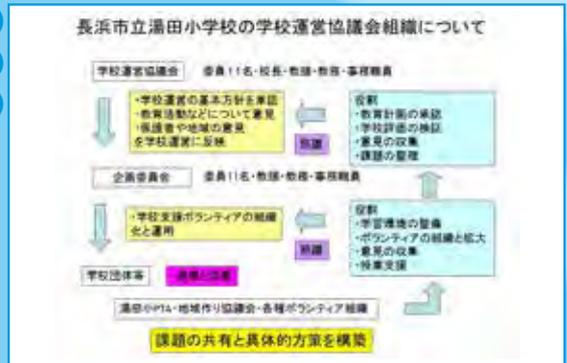
地域とともにある学校づくりの推進

関係する学校名

湯田小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	
	平成 24 年 4 月 1 日					11 人	530 人	19 学級	

体制図



**活動の概要**  
 子供たちが健やかに成長できる地域社会を実現するためには、学校だけでなく、家庭や地域と連携・協働した取組が重要と位置付け、学校や家庭、地域が自らの役割と責任を果たし、地域全体の教育力の向上をめざすことが必要と考え、取り組んでいる。具体的施策では、地域住民等の学校運営への積極的な参画と、学校支援ボランティアの連携・協働を図り、地域と共に進めるよりよい学校づくりを展開していく観点で取組を進めた。  
 特に、地域連携イベントである「湯田小フェスタ」では、金融教育やキャリア教育などの観点を取り入れ、地域の人たちと共に作り上げる事業となった。子供たちだけでなく、関わった人たちの意識も年々高まってきている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

将来地域を支えていく子供たちの教育を、学校と共に「地域の子供は、地域で育てる」の気概を持てるような地域づくりにも取り組んでいる。

前述の「湯田小フェスタ」では、学校運営協議会やPTAのメンバーから金融教育やキャリア教育などの観点を取り入れた活動をしたいとの思いも活かせる事業を行った。子供たちの学習発表だけでなく、フリーマーケット等の運営や地域の人たちと共に取り組んできた「お米づくり」からの「五平餅販売」など、子供たちだけでなく、関わった人たちと共に作り上げることができた。

### 【実施に当たっての工夫】

湯田小フェスタは、学校運営協議会やPTA、地域の方々など様々な人の思いを伝える場としても位置付けたいと考えた。そのために、事前のPRなどを行い、多くの人の参画を求めた。

地域の伝統や自分の仕事に関わるブースの運営を行うことにより、子供たちとの関わりを持つことも参加された方々にとって有意義な取組となった。子供の活動にも、計画段階から関わっていただいた。それに伴い、子供たちも自発的な活動が増え、大きな変容につながった。

また、前年にも関わっていた方々は、前回の反省を活かしての計画をされていた。こうしたPDCAをうまくマネジメントすることができたため、よりよい取組につながったと考える。

## ● 事業を実施しての効果・成果

熟議を行った結果、学校運営協議会委員および関係者の意識の変革につながった。学校支援の取組から、共に育つ地域づくりへシフトする重要性を認識することができた。

また、中学校区内の各小学校ごとに熟議を行ったことで、今までの小学校校区から中学校区へ「地域」というもののとらえ方の広がりや変容がみられてきた。その結果、中学校区内の小学校が「学校での約束」の共通化を図る動きや、それを中学校区への生徒指導等へつなげることが可能であることなど考えを広げることができた。また、防災や福祉の分野との連携・協働が不可欠であるとの思いも共有できた。

## ● その他

今後の「地域とともにある学校づくり」は、中学校区との連携・協働が不可欠と考える。そのためには、関係者による「熟議」や研修会の開催等を通じて、関わる多くの人が当事者意識を持つことができるよう意識の向上を図りたい。また、課題解決に向けた具体的な実効策を計画し取り組んでいきたい。また、上記湯田小フェスタへの地域住民だけでなく、中学生の主体的な参加・参画についても一層取り組んでいきたい。



金融教育・キャリア教育と地域連携の取組 (湯田小フェスタ)



浅井中学校区の委員による熟議